

社協を 発信!



法人運営課課長補佐
しもやま こうき
下山 功樹

新連載「社協を発信!」では、市区町村社協から、社協の「見える化」に向けた情報発信・公開の取り組みを紹介していただきます。

町民の声を励みに、さまざまな情報を 発信していきます!

中泊町社会福祉協議会 (青森県)

飛び地合併のハンディキャップを乗り越え、 いつでも、どこでも 町民の皆様の要請に応える中泊町社協

中泊町は、青森県津軽半島の中央に位置する「旧中里町」と五所川原市市浦地区を間にはさみ、日本海に面した「旧小泊村」が飛び地合併し、誕生した町です。農業を主体とした旧中里町、漁業を主体とした旧小泊村。「大地の恵みと海の幸、心ひとつに希望のまち」のキャッチフレーズにあるように、自然豊かなまちづくりの展開をめざし、今年、合併10年の節目を迎えました。

人口は約12,000人に対し高齢化率は37%と過疎化、少子高齢化が進んでおり、公共交通機関の運行本数が少ないため、通院・買い物等が困難であるなど、様々な生活課題が山積しています。

当会では、平成24年度に取り組んだ「町民福祉意識調査」を基に、平成26年度から平成30年度までの第1次中泊町地域福祉活動計画を策定、町民の福祉ニーズに沿った社協活動の展開を目指しています。

また、目まぐるしく変化する福祉ニーズに対応するため、「地域座談会 出張受付中!」の「のぼり旗」を作成し、いつでも、どこでも町民の皆様からの要請に応え、また、地域に足を運び、福

祉ニーズの掘り起こしができる体制づくりに努めています。

ホームページづくりは、 経費はかけず手間かける

ホームページ作成に至った経緯は、平成17年度に青森県社協が主催した「ホームページ作成研修会」へ参加したことに遡ります。

その研修では、ホームページの作成の初歩について学ぶことができました。

研修終了後、知識は無いけれどもやる気はありましたので、業者には依頼せず、自分なりにいろいろ調べながら、空き時間を利用してコツコツと作りました。トップページが完成した時の感動は、今も忘れることができません。

その後、より多くの方のみてもらおうと「最近のできごと」のページを作成し、社協で行事を開催した時は参加者の写真をすぐにアップロードするよう心がけました。また、当会は若い世代の方々への認知度が低いということから、子どもたちの写真も多く掲載して、保護者であるお父さんお母さん方への社協活動の啓発もしています。

町民の皆様からの声かけが「喜び」

ある時、老人クラブの行事の写真をホームページに掲載したお知らせをしたところ、後日「遠く離れた所に住んでいる孫から、ホームページでおいちゃんの写真を見た連絡があった。うれしかった。本当にありがとう」と感謝の言葉をいただいたことがありました。また、「ホームページ見えていますよ」などと声をかけていただくこともあります。

ホームページを開設して9年経ちましたが、このようないろいろな方々からの感謝や励ましの言葉を励みに、今日まで続けることができました。

ホームページによる情報発信は、広報誌配布よりも広く周知できること、記事の作成から印刷、仕分け、配布など、情報が届くまでのタイムラグも少なく、経費削減にもつながります。

当会の基本理念である「誰もが住み慣れた地域で 共に支え合い 安心して 幸せに暮らせる福祉のまちづくり」の実現のため、住民の福祉ニーズに沿った社協活動の展開を目指し、社会福祉協議会に対する町民の皆様からの期待、信頼に応えられるよう、さまざまな情報を発信しながら、地域福祉活動の拠点として機能するよう、今後もより一層努力してまいります。



社協実施事業ののぼり旗を掲げて啓発活動もしています!



中泊町社協ホームページより
「これからも楽しく見てもらえる情報を発信していきます!」

